

17:14 彼らが群衆のところに来たとき、ひとりの人がイエスのそば近くに来て、御前にひざまずいて言った。

17:15 「主よ。私の息子をあわれんでください。てんかんで、たいへん苦しんでおります。何度も何度も火の中に落ちたり、水の中に落ちたりいたします。」

17:16 そこで、その子をお弟子たちのところに連れて来たのですが、直すことができませんでした。」

17:17 イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な、曲がった今の世だ。いつまであなたがたといっしょにいななければならないのでしょうか。いつまであなたがたにがまんしていなければならないのでしょうか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」

17:18 そして、イエスがその子をおしかりになると、悪霊は彼から出て行き、その子はその時から直った。

17:19 そのとき、弟子たちはそっとイエスのもとに来て、言った。「なぜ、私たちには悪霊を追い出せなかったのですか。」

17:20 イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに告げます。もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、『ここからあそこに移れ。』と言えば移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。」

17:21 「ただし、この種のものは、祈りと断食によらなければ出て行きません。』」

17:22 彼らがガリラヤに集まっていたとき、イエスは彼らに言われた。「人の子は、いまに人々の手に渡されます。」

17:23 そして彼らに殺されるが、三日目によみがえります。」すると、彼らは非常に悲しんだ。

17:24 また、彼らがカペナウムに来たとき、宮の納入金を集める人たちが、ペテロのところに来て言った。「あなたがたの先生は、宮の納入金を納めないのですか。」

17:25 彼は「納めます。」と言って、家にはいると、先にイエスのほうからこう言い出された。「シモン。どう思いますか。世の王たちはだれから税や貢を取り立てますか。自分の子どもたちからですか、それともほかの人たちからですか。」

17:26 ペテロが「ほかの人たちからです。」と言うと、イエスは言われた。「では、子どもたちにはその義務がないのです。」

17:27 しかし、彼らにつまずきを与えないために、湖に行つて釣りをして、最初に釣れた魚を取りなさい。その口をあけるとスタテル一枚が見つかるから、それを取って、わたしとあなたがたの分として納めなさい。」

「信仰が薄い」のはいけませんが、「からし種」のように小さいのは良いのでしょうか。「薄い」というのは、色々な言動の中で信仰の割合が少ないということでしょう。またからし種は小さくても命があります。この違いです。

立派とは言えないような小さな信仰でも、命ある主につながり結びついて、命ある信仰となりましょう。それをしないで、あれやこれやと自分の経験や知識に頼って、信仰を薄めることのないようにしましょう。

また、私たちは神様の子ですから、神様から一方的に受ける資格もありますが、この世の人々のつまずきにならないために、義務を果たしましよ

う。納税も、また手続きも、また教会としての運営のためにも。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

